

整形外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究にかんする倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 新規端側吻合法による遊離皮弁術の術後長期的な血行動態評価～顕微鏡下 parachute 端側吻合法～

[研究機関] 帯広厚生病院整形外科

[研究責任者] 本宮真（帯広厚生病院整形外科手外科センター長）

[研究の目的] 外傷などで手指の軟部組織欠損創を生じた患者さんに、機能と整容を再建するために当科では遊離皮弁術を行うことがあります。より安全に遊離皮弁術を行うために、新しい安全な血管吻合法を導入し良好な成績を得ておりますが、術後長期的な血行動態の変化に関して明らかになっておりません。超音波検査の結果を検討し、血管閉塞による皮弁壊死の合併症を回避できる安全な治療計画を策定していきたいと考えております。

[研究の方法]

●対象となる患者さん：2017年4月から2022年3月までに当院整形外科にて、四肢の軟部組織欠損創に対して遊離皮弁術を行った患者様。

●利用するカルテ情報

- ①年齢、性別、病歴情報
- ②四肢の軟部欠損症の状況
- ③手術の内容
- ④超音波検査による血流に関する情報

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌等で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道帯広市西14条南10丁目1番地
JA北海道厚生連 帯広厚生病院
整形外科 担当医師 本宮真
電話 0155-65-0101

